



桐原 健一 議員

- Q** 定額給付金について、本町において、総額いくら給付になるのか。
- A** 3億5,398万4,000円を支給する予定である。
- Q** 給付方法はどのようにするのか。
- A** 給付は口座振り込みを原則とし、現金給付は口座を持たない方が対象である。
- Q** 独居老人の場合は、どのような方法で給付するのか。
- A** 民生委員の方々のお力添えをいただいで、給付できるようにする。
- Q** 子育て応援特別手当について、定額給付金と同時給付するのか。
- A** 対象児童数が約280人で、定額給付金より早く支給できる。
- Q** 妊産婦健診について、町で実施している5回分では不十分であり14回分の無料化が必要と思うが。
- A** 4月より14回分の無料化（公費負担上限あり）に拡充する。
- Q** 中学生までの医療費助成できないか。
- A** 6月定例会にお諮りし、すすめていきたい。
- Q** 中学生のヘルメット代（保護者負担が1,000円）だが、無償配布できないか。
- A** 自分子どもを災害から守るという責任もあることから1,000円の負担をお願いしている。前向きに検討していく。
- Q** 給食センターのトイレ改善についてどのように改善したのか。
- A** ウォシュレットのトイレ改修については、平成21年度に各給食センターとも改修する予定で予算化している。

予算特別委員会報告

第1回定例会初日の3月17日、町長から提案された平成21年度城里町予算について詳細に審査するため予算特別委員会を設置し、9会計の予算審議を行いました。

予算審議は各議員が広く審議を行うことができるよう、常任委員会ごとの分科会方式により所管分の審査を行いました。委員会での質疑、答弁等の主なものは次のとおりです。

総務常任委員会

総務常任委員会は、会期中の3月24日に委員会を開催し、平成21年度一般会計予算の所管分について審査しました。

Q 不動産貸付収入減額の理由は何か。

A 医師住宅分を減額している。今年度より収入を国保施設勘定に移管したための減である。

Q ふるさと応援寄附金の20年度の収入状況と寄附金はどこに充当しているのか。

A 2件で、98,114円の寄附をいただいでおり、基金積立金に充当している。

Q 場外車券売場交付金の歳入の減額は、町の考えで減額したのか。サテライトとの話合いによる減



額なのか。

A 相手方との打合せは特段なく、前年度の入場者数、売上金等を考慮し、また今の社会情勢、景気後退等を加味して減額したものである。

Q 行政評価制度導入事業は、どのような事業なのか。

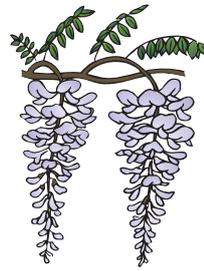
A 町が行っている事務事業のコストや結果を町民に情報提供でき、行政の透明性を高めるために実施する。

Q 船舶免許補助は、今までに何名受けているか。今年度は何名予定しているのか。また、分団への周知はどのようにしているのか。

A 免許取得者は、常北地区5名、桂地区16名で、21年度は各地区1名ずつを見込んでいる。周知については、常北地区、桂地区の那珂川沿岸の関係する支団における幹部会議で啓蒙を図っている。

Q 茨城租税債権管理機構負担金は、依頼件数によって金額が違ってくるのか。また、町では、どのくらい利用しているのか。

A 依頼する1件当たり13万円と依頼して収納された金額の10%を支払う。現在12件お願いしている。



教育民生常任委員会

教育民生常任委員会は、会期中の3月25日に委員会を開催し、平成



21年度一般会計予算の所管分、国民健康保険・老人保健・後期高齢

者医療・介護保険特別会計の予算について審査しました。

Q 石塚小校舎内給水管の洗浄で、コーティングとはどのような方式か。

A コンプレッサーで研磨剤を使い、きれいにしたところをコーティングすると聞いている。

Q 町民運動会は、今年度も一ヶ所で開催するのか。

A 昨年は、アンケート調査を実施し、町の執行部において一ヶ所で開催することに決定した。今後は関係機関と調整して、早急に方向性を検討していきたい。

Q 地域活動支援センターI型、II型、III型は、どこでどのように行われているのか。

A 施設の違いは、定員数、指導員及び職員数等の違いである。町においては、つくし作業所がI型に分類され、配食サービス

行っている。

Q 将来的にやまゆり荘、桂老人福祉センター等の統廃合が必要ではないか。

A 余剰施設の問題もあるが、今後引き続き検討課題となると考えている。

Q 白山グラウンドは、現在使えない状態なので、来年度は、検討していきたい。

A 草刈だけをやっている状況である。財産の管理ということなので、教育委員会としては所管替えをしたいと考えている。

Q 医療機関では、感染症等を防ぐため、消毒等には注意を払っていただきたい。

A 滅菌は高圧滅菌機で行っている。院内感染等もありえるので注意して行っている。

Q 巡回ふれあいサロン事業の内容、成果について

A 各地区を巡回しながら、高齢者

産業建設常任委員会

に生き生き体操等を介護予防で行っている。保険料がかなり少ない方であり成果が表れていると考えている。

産業建設常任委員会は、会期中の

3月23日に委員会を開催し、平成21年度一般会計予算の所管分、公共下水道事業・農業集落排水事業・簡易水道事業特別会計及び水道事業会計の予算について審査しました。



Q 水門等操作委託金の歳入を見込んでいて、歳出がないのは、町

A が直接管理しているという考え方でいいのか。また、どのような点検を行っているのか。

A 直営で職員が実施している。管理内容が定められており、それに基づくとチェックを月1回行っている。5月から9月については月2回行っている。

Q 総合野外活動センターが、現在3施設あるが統廃合等検討する時期なのではないか。

A うぐいすの里、やまびこの郷については、指定管理料で運営しているのが現状なので、考えていかなければならないと思っている。

Q 間伐委託事業で、実施する場所はどこか。面積はどのくらいか。また、間伐材の利用について計画はあるのか。

A 塩子、小勝で20ha、上古内で10haを予定している。間伐材の利用は考えていない。

Q 間伐推進員は、どのような人が

A なるのか。
森林組合の理事、林業にノウハウの人になってもらっている。

Q 企業立地奨励金交付金減額の理由は何か。
A 20年度3件該当していたが、2件が20年度で終了したため、減額になっている。

Q 藤井川総合開発事業負担金は、どのような事業の負担金なのか。
A 藤井川余水吐の老朽化に伴う県で行う改築で、水門の上の道路が町道に認定されており、現在4mの道路を10m、歩道付の2車線にするため、拡幅する分の費用を負担するものである。

Q 下水道長寿命化計画策定委託はどのような事業なのか。

A 国の事業で、管の劣化等を早期に見つけて修理すれば、費用が安くすむということで、維持管理を計画的に行うために調査をし、年次計画の策定を委託するものである。

Q 水位計更新工事は、簡易水道事業を開始してから初めての更新なのか。

A 毎年、点検を委託しており、交換したほうがいいという指摘事項に基づき、平成7年4月開始以来初めての更新である。

